

令和7年度 たじま荘施設運営協議会および
たじま荘認知症対応型通所介護事業所運営推進会議 議事録

会議概要

- 開催日時: 2026年3月11日 13:30～
- 開催場所: たじま荘
- 出席者:
 - 外部: 豊岡市地域包括支援センター森川様、豊岡市社協日高支所北村様、豊岡市日高振興局市民福祉課長山口様、頃垣区長前田様、十戸副区長田中様、出石山崎様、十戸老人クラブ会長清水様、家族会会長白石様
 - たじま荘: 植木所長、田熊参事兼総務課長、田中支援課長、辻デイサービス管理者
- 欠席者: デイサービス利用者家族和多田様(所用のため)、民生委員中嶋様(不明)

議事内容

■議題1:開会・所長挨拶

話された内容

植木所長より開会挨拶。今冬の大雪への対応について、除雪作業や送迎、職員の出退勤等で心配があったが、事故なく春を迎えられる見通しとの報告。

昨年4月で十戸への移転から20周年を迎え、10月のふれあい祭りでは4組のボランティア、区長、十戸老人クラブ会長、民生委員等の参加により盛大に開催。地域・関係者・家族会への感謝を表明。

建物の老朽化や設備不具合が運営に影響している状況を報告。一方で、サービス品質確保と働きやすい職場づくりのため、以下の取り組みを推進中:

- ノーリフティングケアの進展
- 生産性向上の取り組み(AI活用議事録作成、動画研修)
- 県補助金による新介護ソフト導入(1月導入、移行作業中)

デイサービスでは季節行事やレクリエーションを通じ、利用者の持てる力を引き出す取り組みを実施。

■議題2:出席者自己紹介

話された内容

たじま荘職員および外部出席者による自己紹介を実施。

たじま荘職員:

- 植木直子(所長)
- 田熊(参事兼総務課長・司会)
- 田中(支援課長)
- 辻(デイサービス管理者)

外部出席者:

- 森川(豊岡市地域包括支援センター)
- 北村(豊岡市社協日高支所)

- 山口(豊岡市日高振興局市民福祉課長)
- 前田(頃垣区長)
- 田中(十戸副区長)
- 山崎(家族・12年前に利用経験)
- 清水(十戸老人クラブ会長)
- 白石(たじま荘家族会会長)

※デイサービス利用者家族の和多田様は所用により欠席。民生委員の中嶋様は遅れて参加予定(結果欠席)

■議題3-①:たじま荘の施設概要及び事業説明

話された内容

施設概要:

- 昭和49年5月、但馬地域初の特養として日高町朝倉で開設
- 平成17年4月、十戸に新設移転(来月で21年)
- 利用定員:特養110名、ショート10名、認知症デイ10名

ユニットケアの特徴:

- 1ユニット10名の小グループ制
- 個室とリビング環境を整備
- 固定職員による個別ケア実施
- 利用者の意思と自己決定を最大限尊重

ノーリフティングケアの取り組み:

- 兵庫県からモデル施設に認定
- リフト等福祉用具活用により、持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケアを実現
- 施設内勉強会を定期実施
- 導入効果:就職後の腰痛発症がほぼゼロに
- 他府県からの就職希望者や他施設からの見学・勉強会参加が増加

利用状況(2月まで):

- 入所37名、退所36名(昨年比9名増)
- 現在満床(110名)
- 平均要介護度3.8(1-2月は3.6)
- 特養稼働率97.3%(目標97.5%にほぼ到達)
- ショート稼働率88.7%(目標103.5%を14.87ポイント下回る)
- 全体稼働率96.6%(目標98.0%には未達)

ショート稼働率低下の理由:施設入所、入院、死亡等により契約者が減少。

■議題3-②:認知症対応型通所介護事業所(山ぼうし)の事業説明

話された内容

基本情報:

- 1日定員10名、営業時間9:15~16:45

- 契約者 26 名、実利用者 19 名
- 地域別:神鍋近隣(日高、京丹波、三方)が中心
- 介護度:現在は要介護 1~3(以前は 4~5 も在籍)

稼働率状況:

- 2 月稼働率 66.5%、年間最高 7 月 90.5%
- 年間平均 83.3%(目標 75%は達成見込み)
- 10 月以降稼働率低下:12 月に 3 名、2 月に 1 名入院(現在 3 名入院中)
- 週 2~3 回利用の方の入院が稼働率に大きく影響
- 新規 2 件の話あり(うち 1 件は週 3 回希望で稼働率回復期待)

利用者アンケート結果:

- 食事・入浴サービスは様子が見えにくく「分からない」回答が集中
- 「介護負担が減った」との回答が最多
- 日中の休息時間確保、利用者の活動的な過ごし方に評価
- 改善要望:月末まで予定が立たない、迎え時間の調整希望
- 活動要望:文字を書く機会の増加希望

主な行事・取り組み:

- 敬老会(100 歳祝い、新年会での二人羽織等)
- クリスマスビンゴ大会(物価高騰対応で景品工夫)
- 大根作り(立派な収穫、毎日調理)
- 福笑い、節分行事
- 理学療法士による個別リハビリ提案(年 4 名実施)

大雪への対応:

- 全営業日で休業なし
- 家族の除雪困難により数名が休み
- 職員が利用者宅の除雪を実施して送迎したケースあり

結論

目標稼働率は達成見込みだが、入院による稼働率低下が課題。新規利用者獲得とケアマネとの連携強化を継続。家族の介護負担軽減に貢献できている。

サービス内容の可視化(特に食事・入浴)と、文字を書く活動の拡充が今後の改善点。

■議題 4:施設に対する意見・情報交換

話された内容

大雪対応について:

- 質問:今年の大雪で送迎等の工夫はあったか
- 回答:全営業日で休業なし。家族の除雪困難で数名休み。職員が利用者宅を除雪して送迎したケースもあり
- 連続休みは最大 2 回程度で、ほとんどの方が利用継続

ノーリフティングケアの成果について:

- 質問:ノーリフティングケアの浸透による変化は
- 回答:就職後の腰痛発症がほぼゼロに。他府県からの就職希望者増加。他施設からの見学・勉強会参加が増加し、拠点施設として機能

入所待機状況について:

- 質問:現在の入所待機者数と待機期間は
- 回答:待機者約 500 名で推移。待機期間はまちまち(即入所~1-2 年)
- 入所は申込順でなく、介護度・在宅サービス利用状況・介護者状況等を点数化し緊急度で判断
- 医療行為が多い方は治療終了後の入所を優先
- 他利用者への影響(夜間の大声等)も考慮

その他の取り組み報告:

- 新介護ソフト導入:音声入力・タブレット記録により記録業務効率化。データ化で情報共有が容易に。5 月頃本格稼働予定
- 介護イメージアップ事業:日高高校・但馬長寿の郷と協力し、インスタグラムで施設の取り組みを発信 (12 月の餅つき大会の様子を動画でアップ済み)

■議題 5:閉会

話された内容

司会より閉会の挨拶。本日の意見を今後の施設運営に反映し、開かれた施設として利用者サービス向上に努める旨を表明。

希望者には施設見学を案内。(希望者なし)

